

11月1日(金)～3日(日)まで東京都立産業貿易センター台東館で開催された「JAPEX2024」を見学する為に10月31日に上京しました。

1日(金)は10時すぎに会場に到着し、浅草郵便局の臨時出張所で2種の小型印を押印してもらい、又、外国郵政ブースで、チェコ郵政(食器・ジョッキー2種)・オランダ郵政(1種)・ホーランド郵政(交通機関1種)の記念印を押印してもらいました。その後、展示してある作品をじっくり見学しました。午後からは切手商ブースでフランス切手の初期の普通切手を数点購入し、宿泊している川崎市に住んでいる娘の所に帰りました。

2日(土)も10時すぎに会場に到着し、再度作品を見学しましたが、今年は九州からの出品者は伝統郵趣で鹿児島支部長の永吉さん(戦後の年賀切手で大銀賞)・熊本の岩松さん(SWEDEN-Standing Lion 1920-1934で金賞)・文献で福岡支部の小島さん(全国郵便局消印蒐集叢書第31巻「近畿6府県郵便局索引で金銀賞」・長崎支部の会報(「長崎郵趣2023-2024」で銀賞)・福岡の和田さんアメリカの航空郵便週間1938、National Air Mail Week/May 15-21、1938で金銀賞)・長崎の内野さん(エンタニア集 雪月花風信Ⅶで銀銅賞)が受賞されていました。12時頃元スポーツ部会の4名の収友達と会食した後、出店している切手商のブースを覗きましたが、多くの郵趣家が切手類を漁っていました。私も出店していましたアオヤマスタンプ・パインスタンプに挨拶をし、切手類を探しました。

3日(日)も会場に行きましたが、早めに会場を出て目白の切手博物館に行ってから娘の所に帰りました。4日の午前の便で帰福しました。

「JAPEX2024」を見学しましたが、多くの収友とも会い有意義な東京行でした。

